

令和4年度 猪名川町立大島小学校 学校関係者評価

【学校教育目標】 自ら考え、自ら行動し、生き抜く児童の育成

めざす学校像	めざす児童像	めざす教師像
<ul style="list-style-type: none"> 思いやりとやる気に満ちた学校 地域とともにある学校 共感・共汗・共歓できる学校 	<ul style="list-style-type: none"> 自他ともに認め合える子 地域に誇りと愛着をもつ子 めあてをもち自ら学ぶ子 粘り強く考え深く学ぶ子 自他の命を大切にする子 自分の健康を自分で守る子 	<ul style="list-style-type: none"> 確かな専門性と指導力を身につけた教職員 豊かな人間性と情熱をもち、すべての子どもを大切にする教職員 研修に励み、創意工夫し、変革に挑む教職員 バランス感覚に優れ、保護者・地域から信頼される教職員

学校運営協議会委員 評価総評
<ul style="list-style-type: none"> チーム大島に感謝です！！ いつも子どもたちへ手厚い「学校」を運営していただき、ありがとうございます。ただ、手厚さに甘えた子ども、保護者が心配になります。 さまざまな課題がある中でも、地域の方たちとつながり、「チーム大島」として高く評価しています。 学校運営は複雑な問題もあり、大変な中、よく頑張っていたらと、先生方には感謝しております。来年度も、よろしく願いいたします。 本当に先生方ががんばってくださっていると感じています。その中で、環境の変化で対応していかなければならない部分が多く見えてきました。学校間での意見交換は必須と感じます。その中にコミスクメンバーも入れると、また違ったもの見方が加わり、地域で役に立てる部分を発見できるのではないのでしょうか。 子どもたちのことをよく見て、先生方のチームワークも良いと思いました。引き続き、がんばっていただきたいと思います。

(A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない) 評価 A:80%以上 B:70~79% C:60~69% D:59%以下

(◎適切である ○ほぼ適切である △あまり適切でない ×適切でない)

領域	評価の観点	教職員										評価	改善方策	自己評価は適切か	改善方法は適切か	学校運営協議会委員の提言など
		評価基準		A	B	C	D	無	AB評価	昨年度						
開かれた学校づくり	学校便り、学年便り、ホームページなどで教育方針や教育内容など、学校情報を積極的に発信している	82%	18%	0%	0%	0%	100%	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、運動会など地域との関わりを少しずつであるがもつことができた。 オープン参観については、地域の方々があまり来られていない。今後の状況次第ではあるが、地域の方や学校運営協議会のみなさんも、子どもたちの様子を見たいという思いをもっておられるので、引き続き参観や行事のよりよい参加方法を考えていきたい。 	◎ 89%	◎ 71%	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人が学校に足を運ぶのに、交通の便も考える必要になるかと思う。高齢になると、行きたくてもなかなか行けないこともあると思う。 地域の人々は、思っている以上に「行きにくい」と感じている。以前は昔遊びの指導を各地区の年寄りに順番に依頼していた(地区ごとに輪番的な感じで)。指導する側や学ぶ側の一部に入ってもらう形は、地域の「おばちゃん」になった今は、小学校に行きやすいと感じている。 大島の先生方が常に「チーム大島」を意識され、動いておられるのが、良いと感じた。また、そんな共通意識を少しでも我々運営協議会でも共有したいと思っている。 来年度も大島らしい行事ができるとうれしい。 地域の方で学校の中に入ることを躊躇される方もおられると思うので、運動場での縦割り遊びなどをして、子どもたちの笑顔と元気な姿を見てもらうオープン参観もいいのではないかな。 HPは更新もマメにされていて、子どもたちの日常が伝わりやすいものになっていると感じた。 			
	学校の教育活動に保護者や地域の方に参加していただけるように努めている	64%	36%	0%	0%	0%	100%	90%	A							
	地域の行事や活動に参加するなど、積極的に地域と関わりを持っている	27%	73%	0%	0%	0%	100%	80%	A							
	コミュニティースクールとして、学校や子どもの課題を保護者や地域と共有し、取り組みが進められている	45%	55%	0%	0%	0%	100%	90%	A							
学校組織 教職員の資質向上	教職員が校務分掌を責任を持って果たし、組織が十分機能している	36%	64%	0%	0%	0%	100%	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちや地域の実態をふまえどんな力を育てるのか、中学校に向けてどんな力をつけるのか、共通理解が必要である。同じ中学校区の実情を知るためにも、時間割など工夫し様子を見に行くようにする。 大島の教職員は、それぞれがカバーしながら、日々子どもたちのために動いていると感じる。お互い思いやりをもち、同じ目標に向かって進むために、これからも「チーム大島」として心をつなぐっていききたい。 	◎ 70%	◎ 88%	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の人数が少ない中、「チーム大島」として頑張っていたら感謝。 来年度から、中学校での生活が大きく変わる。 現6年生の教室におじゃますると、忘れ物や未提出の字が目立つ。中学生になると大変困ることになるかと思う。中学校は、手厚いサポートがないので…。 地域の人も交えて以前取り組まれていた『元氣ツズ』をもう一度復活させてほしいなと思った。週に一度昔遊びができたり、地域の人とのふれ合いの中でお互いが学ぶことも多々あると思う。内容は、地域の人と共に考えて、楽しく過ごせたらいいなと思った。 昨年までは、小、中を通して育まれていた人との関わり方や相手を深く知るという部分が、中学校の統合で難しくなったと感じた。成長の中では学ぶべきものなので、小学校ですべてできる訳ではないが、土台となる部分の充実をテーマの中に大きく加えてほしい。 			
	職員会議やその他委員会が効率的に行われている	27%	73%	0%	0%	0%	100%	80%	A							
	教育目標やねらいに沿って教職員が協力して取り組んでいる	27%	73%	0%	0%	0%	100%	100%	A							
	研修テーマが大島小学校の課題に即しており、充実している	9%	91%	0%	0%	0%	100%	80%	A							
校種間連携	幼小中の連携を推進するための組織や計画が確立されている	18%	46%	36%	0%	0%	64%	60%	C	<ul style="list-style-type: none"> 上の項目と重複するが、縦のつながり、横のつながりを構築していきたい。今年度は、清陵中学校区では活動ができなかったため、来年度は、計画実行していきたい。また、教職員にも、積極的に子どもたちの様子を知る活動をするように呼びかけていく。 移動手段の費用など、来年度特色の予算を計上している。校外学習などをうまく利用して、交流を深めたい。 	◎ 78%	◎ 71%	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い、まとめて、発表するような特色を増やして、周りにも呼びかけながら自分を高めて、どんどん交流を深めて広がってほしい。 他校とのふれあい、情報交換は、とても良いことだと思う。 清陵中学校区での交流は、ぜひお願いしたい。今年度交流は少なかったものの、担任の先生から他校の6年生の様子などを聞いていただいている、少し安心した。 交流をたくさんすることで、中学校で再会する楽しみが増えるので、良いと思う。 清陵中学校区になり、校園数が増えた分、計画的に連携していけるよう年度当初に組織立てて計画が必要と感じた。 既に動くことされている。内容も伺った。実現されることを期待している。 			
	幼小中の学びの連続性を踏めた指導を心がけている	9%	64%	27%	0%	0%	73%	60%	B							
ICTを活用して授業を進めようとしている	36%	64%	0%	0%	0%	100%	100%	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は休校をきっかけに、Teamsでのオンラインをした。やはり、やらないと忘れてしまうので、定期的に試していきたい。情報担当がいろいろ工夫しながら活用する機会をつくっている。 共有フォルダの整理整頓は、年度末や学期末など定期的に行うようにしたい。 							

学校の情報化	校務用PCを活用し情報の共有や業務のスリム化に寄与している	27%	55%	9%	9%	0%	82%	90%	A	・ネット環境の不具合については、今後も教育委員会に実態把握を促し、解消に向けたはたらきかけをしていく。	◎ 67%	◎ 57%	・共有フォルダの安全管理体制には、注意し、情報が漏れないよう注意して欲しい。 ・中学校では、課題や宿題をタブレットのカメラで撮影し、先生のPCへ送るといったやり方を取り入れている先生がおられる。 ・教職員の仕事量軽減のためにも、ぜひ業務のスリム化を推進していただきたい。
	電子データ、紙媒体など種類にかかわらず、情報管理を徹底している	18%	82%	0%	0%	0%	100%	80%	A		○ 33%	○ 43%	
信頼される学校づくり	保護者が安心して子どもを通わせ、子どもの成長に満足している	55%	45%	0%	0%	0%	100%	100%	A	・保護者対応については、一人で抱え込まず、複数で対応する。 ・地区別懇談会、人権学習会(地区別人権懇談会)は、PTA主催のものである。今後の開催のしかたについてはPTA役員と相談しながら進めていきたい。 ・保護者のみなさんは、先生方の行動、言動をよく見ておられる。TPOに応じた話し方や服装(懇談や参観など)に気をつけていきたい。	◎ 75%	◎ 83%	・新しい先生が増え、保護者の色もまた変わってきているので、もっと交流できるような活動があればいいと思う。
教育課程	授業日数や授業時数の配当及び時間割・校時表が適切かつ効果的に配当されている。	64%	36%	0%	0%	0%	100%	90%	A	・児童アンケートでは、「勉強がわかる」と感じている。しかし、学力テストや市販のテストなど、客観的な資料を利用して、苦手なところをフォローしていく。 ・今年度も「伝え合う」ことが研究のポイントになっていて、教職員も意識して学習活動に取り入れている。しかし、これまで以上に子どもたちの語彙を増やしたり、正しい言語の使い方などを教えたりすることが必要である。また、授業においても、単に教師主導型にならないよう、子どもの発言をクラスで広げたり、子どもたちでつないでいくことなど、研修していく必要がある。 ・朝の学習時間の使い方、各教科の学習については、共通理解をして同じ歩調ですすめていく。	◎ 78%	◎ 86%	・マスクでの授業も大事ではあるが、児童の顔の表情もしっかりと見ることも大事ではないか？ ・放課後学習に、もう少し力添えができれば、と思うのだが難しい。力不足ですみません。 ・学校の勉強と日常生活が、別物と捉える子どもが多いと感じる。学んだことが、子どもたちの生活の中のどの部分のものか…と繋げる学びを意識する必要が現代の「勉強」にあると感じる。勉強がテストのためにならないことが特に小学生には大切ではないか？ ・中学校で学校に来にくくなる子どもの多数が学力に課題がある。授業改善、指導力向上に努めて欲しい。
	指導内容・指導方法の工夫など、わかる授業づくりに取り組んでいる	40%	50%	0%	0%	0%	100%	90%	A		○ 22%	○ 14%	
	言語活動の充実や体験的な学習を取り入れている	64%	36%	0%	0%	0%	100%	100%	A				
特別支援教育	特別支援教育に対する理解を深め、教職員の共通理解のもとサポート体制が整備されている	36%	64%	0%	0%	0%	100%	100%	A	・すべての児童を、担任だけでなく教職員全員で見えていくことが大切である。また、支援が必要な児童に対しては、本人だけでなく、保護者へのアプローチも重要になってくる。どのようにアプローチをしていくか、校内支援委員会と十分協議しながら組織として取り組んでいきたい。 ・子どもたち一人ひとりにあった支援について、“やり過ぎず”“やりなさ過ぎず”“やったつもり”にならないようにしたい。 ・本校は、学習面、生活面において、支援の必要な児童の割合が高い。SC、SSW、支援センター、学校教育指導員などの関係機関と十分に連携していく。	◎ 67%	◎ 86%	・支援授業を必要とする児童が増えているので、学校と家庭との連絡が必要になってくると思う。また、周りの児童、保護者の関係も大切だと思う。 ・人に会って、話を聞くことで、世界が広がる機会を増やすのは、本当に良い取り組みだと思う。けれど、「実感する」というプロセスがそこに加わると、どれだけ大きな経験になるか…といつも思い、考える。
	個別の指導計画に基づいて指導方法を工夫し、児童一人一人の教育的ニーズに応じた指導を実践している	36%	64%	10%	0%	0%	100%	90%	A		○ 33%	○ 14%	
	関係機関や専門家との連携が円滑に行われている	55%	45%	0%	0%	0%	100%	100%	A				
進路指導	児童に将来の夢や希望をもたせ、仕事や働くことの大切さを教えている	0%	82%	18%	0%	0%	82%	80%	A	・進路指導については、子どもたちに様々な経験をさせたり、人と出会ったりすることも、子どもたちにとって大事だと思う。校外学習や出前授業などを活用し、子どもたちに多くの“であい”を経験させ、将来を考えるきっかけにしたい。 ・校種間連携とも関わってくるが、2つの小学校や中学校などの様子を知り、どんな力が必要か、いろんな方向から考える必要がある。学力テストは、その1つの客観的資料と考える。	◎ 67%	◎ 86%	・日本という枠にとどまらず、世界で通用する土台作りの教育をぜひしていただきたい。 ・二分の一成人式や6年生の作品など、将来について考えるきっかけを、自分からと周りからとで考えさせる方法でいいと思う！ ・校外学習で、キッザニアに行けたらいいのですが。家族で行くのもいいが、学校の授業としておくと、感じることや視点がちがうかもしれない。 ・学校運営協議会の方の力も借りて、ゲストティーチャーの話を聞くなど、将来の夢がもてる機会も作っていけるといいのではないかなと思う。
生徒指導	教職員の共通理解のもと、問題行動の未然防止に努めている	64%	36%	0%	0%	0%	100%	80%	A	・職員間で情報を共有することは絶対必要なので、学団等で報告を徹底する。 ・今年度も、いろいろな事案があったが、生活指導担当が中心となって対応した。 ・家庭に介入することはなかなか難しいことではあるが、子どもを守る義務が、学校にはあるので、引き続き、子どもを通して様子を聞いたり直接話をするなどで、保護者に寄り添うことも大切だと考える。 ・月目標については、生活指導からの提案でもよいが、代表委員会はどうか、検討する必要がある(月1回の開催をどうするか)。	◎ 78%	◎ 57%	・保護者との対応は、初動が遅れないよう、関係機関も頼り、先生方の心の大きな負担にならないようにしていただきたい。できることは限られているが、我々もできることはしたいと思う。
	学習規律を身につけさせ、好ましい人間関係と豊かな集団生活が営まれる学級づくりができています	45%	55%	0%	0%	0%	100%	100%	A		○ 22%	○ 43%	
	児童の内面理解に努め、スクールカウンセラー等の教育相談が効果的に機能している	45%	55%	0%	0%	0%	100%	100%	A				
	いじめは絶対に許さない毅然とした態度を示し、いじめの早期発見、解決に向けた体制を確立している	55%	45%	0%	0%	0%	100%	100%	A				

な 心		学校に来にくい子に対して、保護者や生活指導員会、各関係機関と連携し、本人や保護者の意思を尊重しながら対応している	55%	45%	0%	0%	0%	100%	100%	A			
	道徳教育	全体計画が作成され、全教育活動の中で道徳性を育成するよう取り組むとともに道徳の時間の指導を工夫している	45%	55%	0%	0%	0%	100%	100%	A	◎ 100%	◎ 86% ○ 14%	
	人権教育	人権教育指導計画にもとづき、全教育活動の中で、人権意識を高める指導を工夫している	55%	45%	0%	0%	0%	100%	100%	A	◎ 86% ○ 14%	◎ 80% ○ 20%	・地域の方々の体験談等を取り入れてもいいのでは？ ・地域といっしょにできればいい。
	特別活動	行事の内容が充実するとともに、望ましい集団活動を通じて自主的・実践的な活動の活性化が図られている	9%	82%	9%	0%	0%	91%	90%	A	◎ 78% ○ 22%	◎ 100%	・少人数の良さと「伝える」「発表する」場が、一人ひとりにたくさん与えることができるので、そこでどんどん発揮して欲しい。 ・子どもたちが自由に意見を出して、現実のものにしていく経験をたくさん持ってほしい。人数の多くなった中学校では、その経験が激減した。自分と違う意見を「受けとめる」「理解しようとする」ことで、良い話し合いが持てる力をつけてほしい。 ・クラブ活動についても、何か協力できることがあればと思う。 ・これからも子どもたちの自主性を大切にしていきたい。
健康・安全	危機管理体制の整備	災害や事故発生時のマニュアルが整備され、全教職員が共通理解して実行に移せる	18%	73%	9%	0%	0%	91%	70%	A	◎ 89% ○ 11%	◎ 100%	・災害が起きた時、自分にできること、またまわりの状況を考えることができるようになる。
		避難訓練等を実施し、緊急時に児童が命を守る行動がとれるよう指導ができています	36%	64%	0%	0%	0%	100%	90%	A			
		研修や訓練を通して、教職員の危機管理に関する実践力を高めている	27%	73%	0%	0%	0%	100%	100%	A			
	健康・安全	健康で安全な生活ができるための指導ができています	36%	64%	0%	0%	0%	100%	90%	A	◎ 78% ○ 22%	◎ 100%	・放課後学習中に、居眠りをしている子がいた。保護者にも伝え済み。 ・まだ難しいかもしれないが、給食試食会を開いてほしい。
施設・設備の点検を定期的を実施し、清潔で美しい学習環境が整っている	36%	64%	0%	0%	0%	100%	100%	A					
健康な食生活を送るための指導が計画的に行われている	27%	73%	0%	0%	0%	100%	100%	A					